

2017年6月22日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

日本・アジアをつなぐ金融プラットフォーム構築に向けた ブロックチェーン技術の実証実験開始について

イオンフィナンシャルサービス株式会社(代表取締役社長:河原健次、以下、イオンフィナンシャルサービス)および日本アイ・ビー・エム株式会社(代表取締役社長執行役員:エリー・キーナン、以下、日本IBM)は、2017年7月3日(月)より、日本・アジア各国のお客さまや提携加盟店向けの金融プラットフォーム構築に向け、ブロックチェーン技術の適用可能性に関する実証実験を開始いたします。

イオンフィナンシャルサービスは、日本国内および海外 11 カ国において、傘下子会社を通じてクレジット、決済、ファイナンス等の幅広い金融サービスを提供しております。この度の実証実験を通じて、イオンフィナンシャルサービスの事業展開先である日本・アジア各国において、より利便性の高い金融サービスをボーダレスに展開するための金融プラットフォームの構築を目指してまいります。

今回の実証実験では、イオンフィナンシャルサービスのネットワークとブロックチェーン技術を活かし、お買い物やサービスご利用時の仮想通貨やポイントを通じた決済、また、加盟店などの企業間の精算に係る決済、加えて、これら決済取引データの管理運営と利活用などについて、適用可能性と影響を検証してまいります。

また、本検証には、Linux Foundation が提唱するハイパーレジャー(Hyperledger)プロジェクトのブロックチェーン基盤であるハイパーレジャーファブリックを利用します。

IBM は、産業界が求める高度なセキュリティ要件を満たしながらさまざまなビジネス・アプリケーションの開発を実現するため、Linux Foundation の「ハイパーレジャー・プロジェクト」に参画し、世界各国でブロックチェーン技術の実用に向けた取り組みを実施しています。IBM のブロックチェーン技術は、取引履歴を保存し共有する「分散台帳」、取引ルールを規定する「スマート・コントラクト」、取引をシステム上で確定する「合意形成」、取引の安全性を確保および認証する「暗号技術」を提供します。これにより、特定の業界や団体単位でブロックチェーン・ネットワークを形成し、スマート・コントラクトと分散台帳を共有できるモデルの構築が可能です。

今回の実証実験で日本 IBM は、イオンフィナンシャルサービスが推進する金融分野への同技術の適用を支援し、実用を視野にさらなる技術開発を推進していきます。

これからも、お客さまの幅広い金融ニーズにお応えするべく、安全・安心、便利でお得なサービスの充実に努めてまいります。

以上